

INFO

「かがわ働き方改革推進大賞」 「かがわ女性キラサポ大賞」の 候補企業などを募集しています!

県では、働き方改革や女性活躍の推進に取り組む企業の「かがわ働き方改革推進宣言」「かがわ女性キラサポ宣言」を募集しています。

- 特典**
- 宣言書をホームページなどにより広報
 - 就職面接会・企業説明会「かがわくフェア」などでの県の参加企業選定時に有利
 - 自社PRに宣言書、宣言企業マークを使用可能

各宣言をしている企業のうち、優れた取り組みの成果が認められる企業について表彰を行いますので、働き方改革や女性活躍の推進に積極的な企業経営者の方はぜひご応募ください。

応募期限：12月1日(金)



令和4年度
かがわ働き方改革推進大賞
最優秀賞
ずぶや株式会社



令和4年度
かがわ女性キラサポ大賞
大賞
仁尾興産株式会社

問い合わせ先
商工労働部 労働政策課 ☎ 087-832-3370



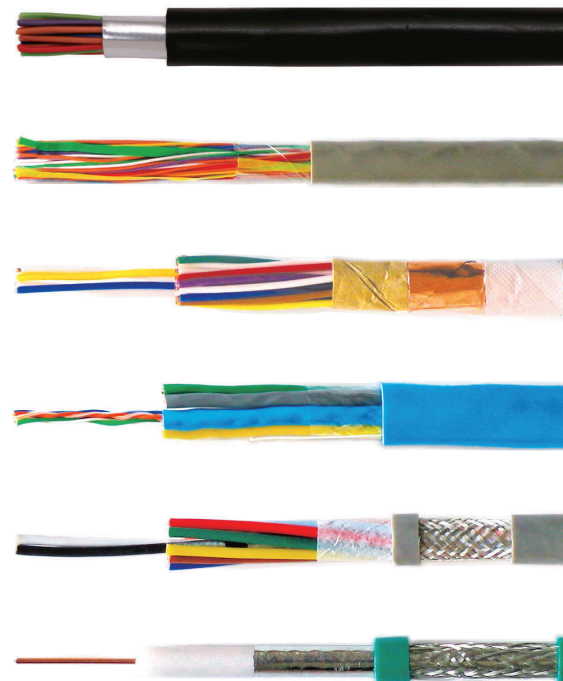
規模施設の案件がほとんどでした。お客さまとのつながりが深く安定感がある半面、お客さまの景気に左右されやすいリスクもあります」と語る尾崎さんは、大手電気工事業者やスーパーゼネコンが手掛ける大型施設のシェア拡大に乗り出し、新国立競技場やあべのハルカスなど数々のランドマーク建設に関わるチャンスを獲得。大型の建設工事は納入の条件が厳しいため、いつでもどこであっても指定されたとおりの搬入ができるよう、全国4カ所に拠点倉庫を構え、自社契約の車両やドライバーによる配送体制を整えています。「必要な時に、必要な量を、必要な場所へ届けるのが当社のモットーです」と尾崎さん。物流ネットワークの確立に伴い、現在は大型施設への納入が中・小規模施設とほぼ同じ割合まで伸びてきました。



代表取締役社長の尾崎勝さん

「地球3周半」の年間製造力

情報化社会を支える



電気信号を伝送することで情報を伝える通信用電線。堅実なものづくりで情報化社会を支える、香川の企業を紹介します。

伸興電線株式会社

住所 さぬき市志度1298番地12
設立 1959年
☎ 087-894-3151
<http://www.shinko-ew.co.jp/>



タイムリーな製造と配送で 全国主要ランドマークにも導入

電線には、動力源としての電気エネルギーを輸送する「強電線」と、電気信号を伝送し設備や機器の動きをコントロールする「弱電線」の大きく2種があります。伸興電線は主に弱電線の製造を手掛けるメーカーです。「人体でいうと強電線は血管、弱電線は脳の指令を伝える神経のようなもので、両方そろわないと体は動かせません。この『神経』の役割を果たす電線が私たちの得意分野で、当社の製品はあらゆる分野で社会のインフラを支えています」と、代表取締役社長の尾崎勝さん。

同社は1959年に大阪で創業し、77年に香川へ全面移転。移転当時は日本電信電話公社の指定メーカーとして主に電話線を手掛けていましたが、時代の流れとともに販路を一般民需へ転換。通信用電線であるLAN・消防・制御・防災・映像用ケーブルなど、現在の同社の製品は主に建物の中で使われています。「私が社長になった約20年前は、中・小

銅の調達に社長自身が担当 新たな販路も視野に新分野に挑む

弱電線分野で国内シェア3〜6割を占める製品をはじめ、3千種以上の製品をつくれる多品種少量生産が同社の強み。1年間に製造する電線の総延長は14万8千キロ、地球3周半に相当するともいえる、その主原料となる銅の調達は尾崎さん自身が担当しています。「原料を調達する時は銅の重さ、製品を販売する時は電線の長さで価格が決まります。当社の場合、売上額の半分は銅の仕入額が占めるため、銅相場の動きを常に注視し、どのタイミングでどのくらい発注するか、大局観を持って判断する必要があります。営業や製造現場の頑張りに応えるためにも、私自身が責任を持つべき仕事です」。

銅線の太さを0.001mm単位の精度で追求し、生産性の向上を目指しつつ、新しい分野の開拓にも意欲的。今は機器用ケーブルの自社製造を視野に入れています。「機器用ケーブルは自動販売機や家電など市場が非常に広く、エンドユーザーの顔が見えるのも魅力。今は他社から仕入れています。自社でつくられるようになれば販路が大きく広がるでしょう」と尾崎さん。「あくまで今の私たちの力量に合わせながら、コツコツ成長していきたいと思っています」。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎ 087(868)9904